

秘

情報委員會八・一二 情報第八號

外國無線局發信電報

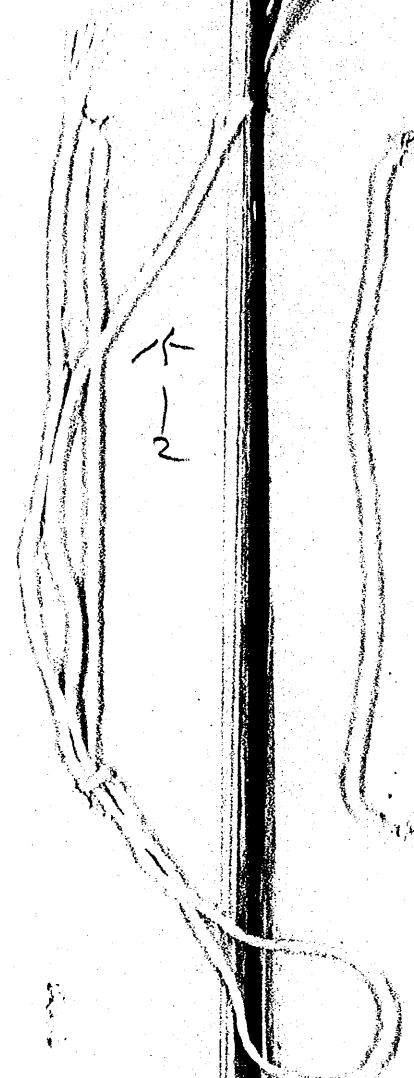
上海 (XGX) 八月十一日

(イ)UP上海發

蔣介石及汪精衛とは「フィリッピン、ヘラルド」のレミューロ氏と會見、其の會見談をUP
が使用する事を許した。内容左の如し

日本は今此の時に蘆溝橋事件の結果を日支間の全面的戦争とするか否かを決定しなければならぬ、余が前にも一度言つたやうに日支間に平和解決の希望の残りが少しでもあるか否かは、日本軍の行動に懸つて居る
又汪精衛は曰く

支那は、日本の大なる帝國主義的計畫の一の附隨的なものに過ぎず、日本の結局の目標は英米兩國なのである。若し世界の平和を護らうとするなら今こそ英米兩國が提携して防禦線に活動すべき時である、若し支那が戦はなければならぬならば、支那は戦ふであらうが之は、支那が平和の爲の爲に戦ふのだと言ふ事を自覺して戦ふのである、支那は日本を打破る事は出来ないかも知れないが併し其の資源を竭させる事は出来る、其故



支那は日本の大なる帝國主義的計畫の一の附隨的なものに過ぎず、日本の結局の目標は英米兩國なのである。若し世界の平和を護らうとするなら今こそ英米兩國が提携して防禦線に活動すべき時である、若し支那が戦はなければならぬならば、支那は戦ふであらうが之は、支那が平和の爲の爲に戦ふのだと言ふ事を自覺して戦ふのである、支那は日本を打破る事は出来ないかも知れないが併し其の資源を竭させる事は出来る、其故

日本の資源が竭きた時、英米兩國は日本の帝國主義的野心を止めるべく、有効に干渉を行ふ事が出来、かくて世界は護られ世界平和は保證されるのである

汪は、レミユロが、蒋介石及び他の政府首腦者も同意見なりやと質問したのに對し然り、彼等は余に同意して居る、我々は此等の意見を討論し、完全な同意を得たと答へ更に續けて

日本は支那民衆に對し屈辱の上に屈辱を積み重ねて來た。此の上忍耐を續ける事は自尊心を持たぬ事となる。日本が戦争しやうと言ふなら我々も對手にならう、支那は現在程一致團結して居る事は今迄になかつた。今迄は我々は國內に於て共匪其の他と闘ひ、國內分立を見て居たから、日本も我々を打破る事が出来たであらう、しかし今日はさうではない。今迄は我々は、日本軍が支那軍を撃滅する事が出来るやうな地域に出て行つて戦つたが、今後は忽ち後退し、日本軍を我が廣大なる領土の各方面に引き寄せ、日本の力を竭させてしまふ。

今世界には英、米、日の三大海軍國がある。余は、日本の領土的野心を抑制せずには置いたのでは、英國が香港の又米國が比島の保護を確保する事は出来ないと言ふ事が理解されて居るか否かを疑ふもので、米國が漸次極東から手を引き布哇を其の西方の水邊としやうとの意圖を有して居ると言ふのは或は眞實であらう、而して此の方針は、米國が地球のこちら側（極東）に於ける其の權益を維持するに餘り經費がかゝり過ぎると思惟し

て居る爲でもあらう、併し余の見る所では、之は米國と日本とが其の優位を争ふ爲に對立するであらう事實の單なる算術的の問題のみにしか過ぎないと思ふ、米國が今英、蘇、佛と協同して太平洋平和の爲に働けば、經費は少なくて済むのではあるまいか、又今、支那が日本と戦争する事により、平和の爲に支那自身を犠牲にしやうとして居る時こそ、心理的にも、前述のやうな協同防禦戦線を張る好機ではあるまいかと述べた

尙レミユロは十日上海に歸着、比島上院議員フエリツブ・ブツキヤミノ、其他の名士と共に十一日、上海に於てケンシ比島大統領と會見、十二日大統領と同船し、P、フーヴァー號にてマニラに歸る筈

(ロ) U P 上海發

日本海軍軍人二名、支那保安隊員一名、虹橋軍用飛行場附近に於ける射殺事件の日支共同調査の結果は其の責任に就いて意見の一致を見る事が出来なかつた。同調査に於て日本側は日本將校は武器を有して居らず又水兵は自動車運轉中で拳銃を抜き出す事は出来なかつたと主張した。又醫學上の檢視の後日本側は屍体が銃剣で突き刺され滅茶々に切りさいなまれて居ると主張した。日本側の發表は昨日より更に強硬な調子を示して居るが、支那側官憲はまだ外交的解決は可能だと言つて居る。信賴すべき筋より聞知した所によれば、死んだ日本人が携へて居た拳銃は支那側當局が持つて居ると。

(ハ) U P 上海發

英國人所有の「ノース、チャイナ、デイリー、ニュース」紙は本日「危険なる舉動一致」と題する社説を掲げ左の如く述べた。

日本國民の間に日支間の關係は、此處數ヶ月の間、死物狂の鬭争状態に在つたのだとの信念を生ぜしむるやう日本新聞紙を統制した者には大なる責任がある。今年のはじめ以來日本に在住する外國人は、重大なる日支間の紛争がある毎に日本の新聞紙が其からしつこく資本を得るのに大なる衝動を受けた。東京に蔓延して居る戦争熱は此種の人爲的な助力なしには發生し得なかつたは明白である。八月六日日本衆議院に於て清國の決議を行つた議員は憐むべき愚達である。彼等は國民に幻想を起させる爲計畫された故意の事實歪曲の無意味

な一例の犠牲となつたのである、彼等は多分幸福にも日本軍が其の兵力を強化し、其の行動を拡大し、又香月將軍の生々しく挑戰的な言葉を引用すれば「暴戾なる支那軍を膺懲」する爲現場に於て執つた思ひ切つた手段の事は知らないで、蘆溝橋に於ける衝突の後日本は公正且つ慎重な態度を持し來つたと宣言させられたのである、彼等は協調的精神に缺けて居るとして支那を批難したが、しかも、南京政府が日本の要求は何か、又どうすれば戦争に落ち込む事なしに其の要求に應ずる事が出来るかを發見するのに智藝を傾け盡した事は、公平な觀察者には誰にでも明白な事である、支那が無法に協定や約諾に違反したと重々しく確言されて居るのは非常に不正確で之は、支那が熱狂的に對日戦備を急いで居ると言ふ發見と相並んで虚偽の上位を占める道打がある、支那の戦備の熱狂さは大して目に立つ程ではないので、日本軍の勝たたる後續部隊輸送の前には完全に影を没して居る、前述の決議は、日本の望む所は「領土でなくて協調」「東亞に於ける永續的平和」であり、「國際信義を無視する支那の抗日政策」の拒否であると確言して居る

現在亞細亞の平和及び國際信義の道を塞ぐと認められる唯一の障害物は日本の帝國主義であり、之は唯に支那の保全を襲ふのみでなく、結局は日本國民を經濟的及び政治的破局に捲き込むものである。

(U P I 國民 終り)

(二) 上海發

海外よりの軍資は南京政府への獻金が引續き行はれ、更に多額に上りつゝある、昨日だけで四萬四千弗が領收されたが、其の中一口の獻金の最も高額たつたものはニューヨークに在住の支那人よりの二萬五千弗であつた。

(六) 上海發、

天津に於ける日本軍は其の權限を、英佛租界に迄延長し來り、兩地域に檢閱官を置き電信及び郵便物の檢閲を行ふ事を要求した、右要求は九日に天津領事團に送られた覺書中に含まれて居たもので日本人檢閱官を租界地に派遣し、檢閲を行はしめ、租界當局の共同檢閲は拒絶すると述べて居る、右覺書を受領した天津領事團は

(此處電文缺)

(七) 南京發

日本政府は日支危局に對し強硬な立場を持し支那が其の態度を再考せぬ限り、日本は外交交渉のイニシアチヴを取らない方針を示して居るが、一方支那政府は、全面的戰爭の準備及組織を完了した。支那政府筋では、支那は既に、其の解決條件と敵對行動を避ける衷心からの希望を披瀝して居るから、川越大使が南京に來り、日本の要求する所は何かを明瞭にしない限り、支那のなし得る事は何もないとの意見である、

南京に於ける支那全國の將領の會議は侵略に對する國家的一致結合を示す見地から重要なものであつたが、此等將領は全部北支の事態に對する國家の方針を示した七月十九日の聲明書中に於て蔣介石が宣言した四項目の最小限度の條件に贊成して居るのでセンセイショナルな決定は何も行なはれないだらうと期待されて居る、若し日本が此の四條件に、同意すれば平和が齎されるが、若し日本が之を拒否すれば戰爭は不可避である、彼等將領が對論

して居るのは、戦争か平和かの問題ではなくて、國家は日本が外交々渉を拒絶した場合の抵抗の準備を如何に行ふかの細目に就いてである、

當地に集會した將領の中大多數の名は既に公表されたが、少數の者の名は未だ發表されて居ない、而して此等の者が南京に来て居ると言ふ事は支那及び世界の歴史を作るものであり、之を發表すれば、世界を驚かすであらう、其故に彼等が来て居る事に就いては、最も嚴重な秘密が保たれて居る、

戰時機關の組織も完了した、而して、之はまだ公式な報道はないが、司令官、參謀本部、政治的組織の六部門、共産主義者行動の參謀本部、情報部等を含む組織も完了された、併し此の組織は、公邊からの確かな情報が得られぬから、合理的な推測として取扱はるべきである、

支那政府は、日本軍の平津地方占領繼續を許容せず、又更に察哈爾、綏遠、山西への侵入を許容せぬ決意を有して居る、

尙通信機關は之を發表せずに居るが、日本軍の手先が南京東南の城門の直ぐ外に在る軍用飛行場を二回に亘つて襲つた事が判つた、彼等が飛行場破壊を企てたのか、又は單に偵察を行つたのかは確かでないが、二度とも警備兵が彼等を發見し銃火を交へ、一名の警備兵は輕傷を負つた、平服を着て居た日本の手先は暗にまぎれて逃走した、

昭和十二年八月十一日

北支事變ニ關スル各國新聞論調概要(十)

秘

(執務參考用ニ付キ取扱注意アリタシ)